

浜田会議所だより

Hamada Chamber of Commerce & Industry



No.440

山陰道 三隅・益田道路待望の開通

地域の物流や観光、地域医療など多大な整備効果拡充に期待



▲記念式典の様子

山陰道の三隅・益田道路は、令和8年3月28日に待望の開通を迎え、浜田市の石見三隅ICから益田市の遠田ICまでを結ぶ延長15.2kmの区間が繋がりました。

開通により交通事故が減少するとともに、浜田市役所から益田市役所までの所要時間が約10分短縮されるなど、山陰道の整備は移動時間の短縮や、空港・港湾へのアクセス強化を図ることにより、地域間の交流や連携を強化し、山陰地方の産業・経済の発展や観光振興にも大きく貢献します。

開通当日には、現地で大規模な記念式典が開催され、

島根県のご当地キャラクター「しまねっこ」などのマスコットや多数の関係者が見守る中、華々しくテープカットやくす玉開披が行われました。

式典後には、警察車両や消防車両を先頭としたパレード走行(通り初め)が行われ、沿道から旗を振る市民の声援を受けながら、真新しいアスファルトの上を第一号の車列が通り抜けました。

災害や異常気象時の代替路の確保、第三次救急医療機関へのアクセス向上、さらには周辺地域の観光活性化支援といった多岐にわたる効果が期待されます。

Table Of Contents

1 P	山陰道 三隅・益田道路記念式典
2 P	令和8年度事業計画
3 P	収支予算
	会議所月報 新入会員のご案内
4 P	通常議員総会
	簿記検定スケジュール

5 P	青年部だより
6 P	経営状況調査報告について
7 P	経営状況調査報告について
8 P	うみかぜ薫るリレー&ソロマラソン
	浜田の石見神楽検定・講習会開催について

令和8年度 事業計画・収支予算

－ 事業計画 －

I 基本方針

II 実施事業

1. 外部環境の変化への対応(経営支援)

- 1) 中小・小規模事業者の経営力向上支援
 - ①経営相談体制の強化
 - ②創業・事業承継等の支援
 - ③金融等諸制度の利用促進
 - ④補助金等の利用促進と申請支援
 - ⑤中小企業・小規模事業者の併走型経営支援の強化
 - ⑥経営革新・持続的発展への支援
- 2) 自己変革への成長支援
 - ①ビジネスマッチングの拡充
 - ②「BUY 浜田運動」の推進
 - ③国際ビジネス・交流の推進
 - ④会員企業のPR支援
- 3) 取引適正化・価格転嫁の推進
 - ①取引適正化の推進
- 4) デジタル化・DXの推進
 - ①デジタル技術の活用支援
- 5) 人手不足対策、人材育成の推進
 - ①人手不足の対応
 - ②人材育成の支援
 - ③多様な働き方の推進
- 6) 環境(カーボンニュートラル)・エネルギー対策
- 7) 地域経済の持続的発展に向けた政策提言活動
 - ①提言・要望活動の展開
 - ②行政との連携強化
 - ③産業活動、経営環境変化に関する調査
- 8) 会員ニーズに応じた各部会及び特別委員会事業の推進
 - ①小売商業部会
 - ②卸部会
 - ③工業部会
 - ④水産部会
 - ⑤運輸部会
 - ⑥観光部会
 - ⑦庶業サービス部会
 - ⑧総務委員会
 - ⑨21世紀まちづくり委員会
 - ⑩経済活性化委員会

2. 魅力ある浜田づくりの推進とにぎわいの創出(地域振興)

- 1) 賑わいのあるまちづくりの提案とインフラ整備の促進
 - ①活気と賑わいのある都市空間づくりの推進
 - ②港湾・空港並びに幹線道路網等の整備・利活用の促進
 - ③島根県立大学・地元県立高校との連携強化
 - ④関係団体への協力
- 2) 地域資源を活かした観光振興
 - ①地域資源を活かした新たな魅力づくりと観光客の誘致促進
 - ②インバウンド観光の促進
 - ③地域イベントの推進協力
 - ④スポーツ・文化による振興
- 3) 広域連携を通じた観光・経済交流と地域づくりの推進
 - ①広域交流・連携による地域づくりの推進
 - ②近隣都市等との広域連携の強化

3. 事業推進体制の強化

- 1) 会員増強の推進と会員ネットワークの強化
 - ①会員増強の取り組み
 - ②会員交流事業の拡充
- 2) 組織運営の活性化
 - ①議員総会、正副会頭会議、常議員会、部会、委員会等の開催
 - ②委員会、部会の活性化
 - ③青年部活動への支援
 - ④関係団体との連携
- 3) 会員満足度の向上を目指すサービス事業の推進
 - ①会員サービスの強化
- 4) 情報発信力の強化と存在価値の向上
 - ①中期行動計画の策定
 - ②情報発信力の強化
 - ③事務局体制の強化

- 収支予算書総括表 -

自 令和 8 年 4 月 1 日

至 令和 9 年 3 月 3 1 日

会計名	収入			支出			摘要
	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	
一般会計	62,436,000	64,048,267	△ 1,612,267	62,436,000	64,048,267	△ 1,612,267	(繰入金) 共済事業特別会計5,065,000 会館特別会計1,304,000 (繰出金) 小規模事業特別会計1,995,000 労働保険特別会計1,995,000 共通商品券特別会計616,000 退職給与基金特別会計1,223,000
小規模事業特別会計	80,526,000	76,145,000	4,381,000	80,526,000	76,145,000	4,381,000	(繰入金) 一般会計1,995,000 (繰出金) 退職給与基金特別会計2,689,000
共済事業特別会計	12,071,000	12,230,000	△ 159,000	12,071,000	12,230,000	△ 159,000	(繰出金) 一般会計5,065,000 退職給与基金特別会計348,000
特定退職金共済事業特別会計	106,908,000	104,795,000	2,113,000	106,908,000	104,795,000	2,113,000	
労働保険事務組合特別会計	4,966,000	5,254,000	△ 288,000	4,966,000	5,254,000	△ 288,000	(繰入金) 一般会計1,950,000 (繰出金) 退職給与基金特別会計263,000
労働保険事務組合労働保険料特別会計	20,121,000	20,121,000	0	20,121,000	20,121,000	0	
会館特別会計	10,442,000	13,601,000	△ 3,159,000	10,442,000	13,601,000	△ 3,159,000	(繰出金) 一般会計1,304,000
浜田市共通商品券発行事業特別会計	105,758,000	102,683,000	3,075,000	105,758,000	102,683,000	3,075,000	(繰入金) 一般会計616,000
退職給与基金特別会計	29,872,000	22,320,000	7,552,000	29,872,000	22,320,000	7,552,000	(繰入金) 一般会計1,223,000 共済事業特別会計348,000 労働保険特別会計263,000 小規模事業特別会計2,689,000
会館施設設備基金特別会計	6,004,000	7,000,000	△ 996,000	6,004,000	7,000,000	△ 996,000	
財政調整基金特別会計	15,045,000	15,012,000	33,000	15,045,000	15,012,000	33,000	
還元事業基金特別会計	1,391,000	1,390,000	1,000	1,391,000	1,390,000	1,000	
商工振興基金特別会計	2,583,000	2,579,000	4,000	2,583,000	2,579,000	4,000	
合計	458,123,000	447,178,267	10,944,733	458,123,000	447,178,267	10,944,733	

会議所月報

協議事項

1. 会議所会員加入承諾について

[1月末会員数] 1,089 [2月末会員数] 1,089

[2025年4月1日現在商工業者数] 2,165

[組織率] 50.30%

加入事業所数 : 1 退会事業所数 : 1

2. 通常議員総会への提出議案について

1. 令和7年度補正予算(案)について
2. 令和8年度事業計画(案)について
3. 令和8年度収支予算(案)について
4. 役員の退任・選任について

報告事項

1. 会員事業所に対する経営状況調査のアンケート結果について
2. 浜田駅周辺エリア活性化検討会について
3. 中期行動計画(2025~2027)事業項目の内容見直しについて
4. 通常議員総会について



3. 規定の改正について

新入会員のご案内

ご入会いただきありがとうございます (敬称略)

企業・事業所	所在地	代表者名	営業内容
小松原 一則	浜田市熱田町	小松原 一則	不動産賃貸業



第182回 通常議員総会

令和8年度収支予算総額
約4億5千万円承認

▲挨拶をされる榎山会頭

次提案議案として、令和7年度の補正予算について、令和8年度事業計画書について、令和8年度一般会計並びに特別会計収支予算書について、役員の退任についての4議案について

特別講演会として日本銀行 松江支店 大関雄資支店長をお招きし「最近の金融経済情勢」というテーマで約1時間ご講演いただきました。

冒頭のあいさつで榎山会頭は、この商工会議所がいかにか地方衰退を支えていくか考えを示し、「財政問題、経済活性化について一緒に考えていく」と述べました。

第182回通常議員総会が3月27日(金)、浜田ニューキャッスルホテルにおいて開催されました。当日は多数のご来賓出席のもと、総議員数80人に対し69人(本人出席33人、委任状出席36人)の出席議員により行いました。

▶講演を行う大関支店長



議員間で十分な討議が行われ、その結果、いずれも提案通り拍手多数で承認されました。これにより今後の会議所活動に向けた具体的な進捗が可能となり議員全員が新たなスタートを切ることが確認されました。総会終了後には懇親会が開催され、和やかな雰囲気の中で参加された方々が懇親を深め、今後の協力関係を強化する貴重な時間となりました。懇親会では、会員同士の親睦が深まり、今後の事業や活動に向けての活発な意見交換も行われました。

2026(令和8)年簿記検定スケジュール

申込受付：①浜田商工会議所窓口 ☎0855-22-3025

②ネット申込(別途事務手数料が掛かります)

URL <https://cbt-s.com/examinee/examination/jcci.html>



▲申込ページ

回数/級	試験日	受付期間	受験料
173回 1～3級	6月14日(日)	4月27日(月)～5月18日(月)	1級 8,800円 2級 5,500円 3級 3,300円
174回 1～3級	11月15日(日)	9月28日(月)～10月19日(月)	1級 8,800円 2級 5,500円 3級 3,300円
175回 2～3級	2027年 2月28日(日)	2027年 1月12日(火)～2月1日(月)	2級 5,500円 3級 3,300円

SEINENBU DAYORI

[浜田商工会議所 青年部だより - 4月号 -]

事務局：〒697-0026 浜田市田町 1668

TEL.0855-22-3025

FAX.0855-22-5400 E-mail: yeg@hamada-cci.or.jp

f 浜田YEG



卒業式について

総務委員長 幸田 隆司

3月19日(木)、浜田商工会館3階会議室において、令和7年度浜田商工会議所青年部卒業式を開催いたしました。

当日はご多忙のところ、樫山会頭をはじめ、ご来賓ならびにOB・OGの皆様にご出席を賜り、誠にありがとうございました。

式典では、栗山会長より卒業証書ならびに卒業記念品が授与され、送辞では思い出と感謝の言葉が述べられました。続く卒業生代表による答辞では、これまでの歩みを振り返る言葉に会場一同、胸が熱くなる場面も見られ

ました。

その後の懇親会では、卒業生へのお祝いメッセージや活動を振り返る映像を上映し、さらに数名の方々より心温まるエピソードが披露されるなど、和やかなひとときとなりました。

このたびご卒業された泉君、小田君、竹本君、西元君におかれましては、今後とも変わらぬご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、今後のさらなるご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

2月例会について

企画委員会 委員 樫山 太介

2月19日(木)、浜田商工会議所青年部では2月例会を開催しました。

本例会では、昨年12月に実施した「キッズワークフェスタ」について、参加者保護者および出展企業からのアンケート結果を共有し、次回開催に向けた意見交換を行いました。

保護者からは、「子どもが地元企業の仕事を具体的にイメージできた」といった好意的な声が多く寄せられ、事業の意義と満足度の高さがうかがえました。一方で、「職業体験の時間をもう少し長くしてほしい」といった運営面での改善を求める意見もあり、今後の検討課題が明確となりました。

また、出展企業からは、「来場者の動線やタイムスケジュールをより分かりやすくしたい」「説明補助ツールを統一すると伝えやすい」など、展示や体験設計に関する具体的な提案が寄せられました。

さらに、青年部メンバーによる意見交換では、「受付から会場内における動線の整理」「体験プログラムの時間配分および回転率の見直し」「学校やSNS等を活用した事前周知の強化」「安全管理体制とスタッフ配置の最適化」「出展企業の準備負担の軽減」などが重点課題として挙げられました。

今後は、これらの意見を踏まえ、より充実した事業運営に努めてまいります。



◀ 2月例会の様子

会員事業所に対する経営状況調査について報告

本調査は会員事業所に対して必要な事業支援を行政機関と連携して行う目的で、「DX」、「人手不足・人材育成」、「価格転嫁」の3点に注目し、経営状況調査を実施しました。【回答数】222事業所 【回答率】20%
集計期間11月1日(土)～2月27日(金) 今回「DX」・「人手不足・人材育成」について調査報告致します

問1. デジタル化に取り組んでいる業務について(複数回答)

業務	件数	割合(%)
電子・ペーパーレス化	100	55.6
販売促進・広報のデジタル化	53	29.4
生産・サービス提供のデジタル化	52	28.9
働き方改革・人材育成	40	22.2
IoTやAIの活用	23	12.8
その他	20	8.0

問2. デジタル化やDXによる効果について。

効果	件数	割合(%)
大きな効果を感じている	34	16.5
一部で効果を感じている	75	36.4
どちらともいえない	36	17.5
あまり感じていない	16	7.8
未実施	45	21.8

問3. DXを進めるうえでの課題について(複数回答)

課題	件数	割合(%)
人材・スキル不足	98	53.8
導入費用	88	48.4
環境整備が不十分	62	34.1
経営層・現場の理解不足	37	20.3
何から始めたらいいかわからない	32	17.6
その他	9	4.6

問4. 今後取り組みたい分野について(複数回答)

分野	件数	割合(%)
業務効率化・生産性向上	98	53.8
販売促進・顧客対応	88	48.4
顧客データの活用	62	34.1
経営層・現場の理解不足	37	20.3
何から始めたらいいかわからない	32	17.6
その他	9	4.6

問5. 当所に期待する支援内容について(複数回答)

支援内容	件数	割合(%)
IT導入補助金・助成金	91	51.7
導入事例・成功事例共有	62	35.2
セミナーの開催	58	33.0
専門家によるアドバイス	48	27.3
DXに関する人材育成	24	13.0
その他	26	4.6

問6. 今後のデジタル化・推進に感じる課題や要望について

- ・費用対効果を考え、どのシステムを採用するか検討に時間が掛かっています。DX導入前のコスト増大について、補助金増額を検討してほしいです。
- ・DX以前の下地や環境整備が大変。アナログとの併用問題がついて回る。
- ・体制づくり、専門知識を持った人材の配置。
- ・建設業では、DXなどは一部分しか出来てない為、難しく感じています。
- ・デジタル化・DXを取組み今後の業務改善・時間短縮に期待。
- ・行政手続きをオンラインで出来ても届出機関に出向く必要があり現地に赴くなどの負担が免除されません。出先機関や地方公共団体での手続きがなど消費者の利便性向上に期待しています。

○問1～6 デジタル化・DXの回答まとめ

・デジタル化・DXについては5割の企業で「文書のペーパーレス化」が実施されており、約3割の企業で販促や広報、サービス提供等比較的取り掛かりやすい業務に取り組んでいることが分かった。また、DXの取り組みの有無は5割程度になっており、人材・スキル不足、環境整備、導入費用等がDXを導入する上での顕著な課題といえる。何から取り組めば良いかわからないといった意見も2割程度あるため、補助金やDX導入成功事例のみならず、セミナーやスキル人材育成といった個別対応を望む声も一定数あることが分かった。

会員事業所に対する経営状況調査について報告

問7. 人手不足を感じているかについて

人手不足	件数	割合 (%)
非常に感じている	48	21.6
やや感じている	85	38.3
あまり感じていない	47	21.2
全く感じていない	28	12.6
わからない	14	6.3

問8. 人手不足の主な要因について (複数回答)

主な要因	件数	割合 (%)
若年層の採用難	86	52.1
賃金・待遇面の競争力不足	67	40.6
低い定着率	40	24.2
労働時間・働き方の問題	40	24.2
必要なスキルを持つ人材	34	20.6
その他	9	5.0

問9. 社員教育・人材育成取組みについて

育成取組み	件数	割合 (%)
定期的に実施している	18	8.1
必要に応じて実施している	83	37.4
あまり実施していない	57	25.7
実施していない	64	28.8

問10. 人材育成の課題として感じることにについて (複数回答)

育成課題	件数	割合 (%)
教育に割く時間がない	77	48.4
教える人材がいない	64	40.3
費用の負担が大きい	50	31.4
研修後定着が低い	19	11.9
どの研修を選べばよいか分からない	11	6.9
その他	11	6.9

問11. 人手不足・人材育成当所に期待する支援内容について (複数回答)

期待する支援	件数	割合 (%)
求人・採用活動の支援	68	44.7
人材育成・社員研修の実施	51	33.6
専門家によるアドバイス	44	28.9
働き方改革・職場環境改善	23	15.1
その他	15	9.0

問12. 人手不足・人材育成に感じる課題や要望について

- ・採用難のなか残業規制により営業時間を短縮せざるを得ないです。来年から勤務のインターバルを考える人が必要です。最賃で基本給引上げを行います。
- ・人件費比率が高まっていくことが不安です。
- ・製造業に就きたい人が少ないと感じています。
- ・人材育成しても若年層の方が1~2年で辞めてしまう厳しい状況です。
- ・当地での若手人材の確保。賃金アップのために国の補助が必要です。働く世代の人口減少を感じています。
- ・求人活動をしています。若手の採用が非常に厳しい状況です。どのような情報発信、アプローチを進めたら良いか成功事例などありましたら教えて頂きたいです。

○問7~12 人手不足・人材育成の回答まとめ

・人手不足・人材育成については約6割が人手不足を感じていると回答した。若手人材の確保が難しいとの声が多く、特に地方における働き手人口の不足や志望者不足が課題として挙げられた。採用できた場合でも若年層の早期退職により人材育成が進みにくいといった意見も見られた。最低賃金の引上げによる人件費負担増加や、労働時間規制への対応も経営上の懸念となっている。こうした状況の中で、若手採用に向けた効果的な情報発信や賃上げ支援などの制度的な支援を求める声も挙がっている。

引き続き会報5月号に調査報告を掲載致します。

LINE 公式アカウント



浜田商工会議所 友だち募集中

市内のイベント情報・補助金制度・セミナーなど

浜田商工会議所の最新情報を配信中！

SCAN ME!



2026 うみかぜ薫るリレー&ソロマラソン



3月14日(土)、うみかぜ薫るリレー&ソロマラソン in 山陰浜田港が開催され、県内外から訪れた514名が集い、参加者が思い思いのペースでタスキを繋ぎ健脚を競いました。

本イベントは浜田市合併10周年記念事業として平成28年から開催されており、今では冬の風物詩となっています。

はまだお魚市場前を発着点として、10kmコース、20kmコースのソロ部門、約2kmを2時間または4時間周回する耐久マラソンのリレー部門で構成されています。

エイドステーションでは赤天、さしみ醤油キャラメル、チーズブッセなどが振る舞われランナーに力を与えました。

当日は、はまだお魚市場でもイベントを開催しており、マラソンの賑わいに一花添えていました。

参加されたランナーは「マリン大橋と浜田港からの絶景を見ながら走れて気持ち良かったので、また、挑戦してみたいです」と完走後の充実感と来年に向けた気持ちを述べられていました。

浜田の石見神楽検定・講習会開催のお知らせ



<講習会>

令和8年7月4日(土) 13:00~(参加費無料)

場 所 浜田商工会議所 浜田市田町1668

★石見神楽面の技法とその歩みについて

講師：柿田 兼志 氏(柿田勝郎面工房代表)

★浜田の石見神楽の特徴について

講師：小川 徹 氏(石見神楽亀山社中代表)

★浜田の石見神楽の演目、衣裳、採り物について

講師：日高 均 氏(西村神楽社中代表)

<検 定>

令和8年7月11日(土) 10:00~(初級・上級)

場 所 浜田商工会議所 浜田市田町1668

★初級：2,200円(高校生以下1,100円)

★上級：3,300円(一般・初級の合格者のみ可)

申込受付：浜田商工会議所窓口 ☎ 0855-22-3025